

# 高 校

# P T A だより

令和3年3月24日発行  
(第3号)  
北海道俱知安高等学校  
P T A 事務局  
俱知安町北7西2  
Tel 22-1085  
題字：小山内無石先生

## PTA活動からの卒業と感謝

PTA会長 小澤 修



今年度は、新型コロナウイルス感染症が収束し、様々なPTA行事が開催できることを願っていましたが、「コロナ禍は終焉せず、PTA総会は書面開催となり、その後のPTA行事活動が中止となったことは、会長として大変申し訳なく思っています。

生徒においても、入学式直後の休校、高体連各種大会の中止、更には高校生活一番の思い出となる修学旅行が中止となる事態で生徒も寂しさが残る一年だったと察します。しかし、多くの生徒が、その現実を後ろ向きでなく真正面から受け止め、今後自らが為すべきことは何かを考え行動する姿を見たときに学校における指導に感謝しつつ、家庭内におけるコミュニケーションが充実していたのではないかと推察しております。10の間の学校並

び「ご家族の支えに感謝申し上げます。

私もPTA各種行事が開催できない現実を受け止め、自身がPTA会員のところに足を運び、PTA活動の大切さをお伝えすることが会長としての責務と捉え、各支部の教育懇談会に出席してきました。

各支部においては快く迎えて入れて頂いたことに感謝しております。「コロナ禍が終焉した際には、これまで以上に各支部の活動が活発化し、俱知安高校PTA全体が更なる発展を遂げることを確信しています。

最後に、三姉妹の末っ子が卒業し、私自身のPTA活動も卒業となります。小・中・高校と様々な役職を担わせて頂いた10年間でした。その間多くの先生や保護者の方々と接し、自分自身を磨くことができた。特に私自身の母校であ

俱知安高校の会長を二年間出来たことは大変光栄なことでした。俱知安支部をはじめとする各支部の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。今後は、地域の子供たちが健やかに育むことを願い、地域で自身が協力できることをコツコツとやっていきたいと考えています。本当に二年間世話になりました。

## 目指すは「ONE PIECE」のルフィ!

校長 西川 勤



「時代の変化が激しい」「先行きは誰にも見えない」「今の時代を指してよく形容される言葉です。保護者の皆様が、今から30年前に、現在の社会を想像できたでしょうか?時代の流れが加速度的に早くなっていることを思えば、今から30年後の20年の社会となる

と、それこそ誰も予測できないはず。それどころか、新型コロナウイルスの影響で、数か月先の見通しを立てることが難しく状況です。

社会の変化に伴って変わるのが仕事です。30年前に「ユーザー」という仕事があるなんて誰にも分からなかったはず。AIの進化によって、今の子どもたちが大人になった時、その65%は今はない職業に就く可能性が高いという研究もあります。しかし、予想のそもそも早く「アフターコロナ」には社会は一変するかもしれません。リモートワークやオンラインでの会議等、働き方の変化は予想よりも早く広まり、学校教育もGIGAスクール構想の下、ICT環境整備が整いつつあります。

私たちは今、歴史的な転換期に遭遇しています。では、このような時代を生きて抜けていく今の子どもたちには、果たしてどのような力が必要とされるのでしょうか?

そのヒントをくれるのが、漫画「ONE PIECE」のルフィ。従来の少年漫画のように主人公が一番強いのではなく、最強ではないルフィが、様々な専門性を持った仲間と協力し合うことで強くなっているように、チームや仲間と新しいことに挑戦する時代に求められるのは「多様性を理解し、協働する力」であり、知識をただ蓄えるだけではなく、場面に臨んで

自分なりに活用し、自ら考えて課題を発見し解決していく「Oから1を創造する力」なのだと思います。

同時に、「自分の強みを生かして、自分らしく生き抜く力」も大切です。保護者の皆様の、親としての究極の願いは「子どもに幸せになってほしい」ということであるはずです。その意味で、親の役目は、我が子の「自分らしく」や「自分の強み」を見極め、それらを伸ばしていく手助けをしてあげることなのだと思えます。当然のことながら本校といたしましても、子どもたちに期待されるこれらの力が身につけられるよう教育活動を展開してまいりますのでよろしくお願いたします。

結び、保護者の皆様の一年度の本校教育活動に対しての深いご理解と心強い「支援に心から感謝申し上げます」とも、今後とも一層の「理解」と「支援を申し上げます。挨拶いたします。



# 3年次の主な進路先

3月8日現在

【国公立大学】旭川医科大学、北海道教育大学岩見沢校、北見工業大学、公立千歳科学技術大学、室蘭工業大学、弘前大学、青森県立保健大学

【私立大学】北海学園大学、北海道千歳リハビリテーション大学、北海道医療大学、北海道情報大学、北星学園大学、札幌学院大学、酪農学園大学、北海道科学大学、札幌国際大学、東海大学、旭川大学、札幌保健医療大学、札幌大学、天使大学、日本医療大学、北海道文教大学、文化学園大学、金沢工業大学、千葉科学大学、麗澤大学、桜美林大学、東京家政大学、神田外国語大学、宮崎国際大学、聖徳大学

【短期大学】北星学園大学短期大学部、札幌国際大学短期大学部、札幌大谷大学短期大学部、北海道武蔵女子短期大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部

【看護学校】中村記念病院附属看護学校、北海道厚生連旭川厚生看護専門学校、王子総合病院附属看護専門学校、小樽市立高等看護学院、市立函館病院高等看護学院、岩見沢市立高等看護学院、日鋼記念看護学校、秋田しらかみ看護学院、土浦看護専門学校

【その他進学】北海道立旭川高等技術専門学院

【専門学校】北海道理容美容専門学校、札幌スポーツ&メディカル専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、大阪文化服飾学院、日本航空専門学校、吉田学園医療歯科専門学校、大原簿記情報専門学校、経専調理製菓専門学校、専門学校札幌ビジュアルアーツ、専門学校北海道リハビリテーション大学校、専門学校北海道福祉・保育大学校、大原法律公務員専門学校、大原医療福祉専門学校、札幌青葉鍼灸柔整専門学校、札幌看護医療専門学校、北海道スポーツ専門学校

【公務員】国家公務員一般事務、北海道職員、北海道警察、倶知安町役場、ニセコ町役場、蘭越町役場、真狩村役場、共和町役場、神恵内村役場、日高東部消防、自衛隊、東京消防庁

【民間就職】日本郵便株式会社北海道支社、北海道エネルギー、湯本ニセコプリンスひらひ亭、ホテルアンヌプリ、ニセコ環境株式会社、株式会社高塗装、介護老人保健施設麓華苑、Niseko Landscaping、喜茂別町商工会、ゆうやくリサイクル

## 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て、しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



### ●電話相談

0120-3882-56（無料、24時間対応）

### ●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

### ●来所相談

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

## 卒業式

3月1日127名の3年生が保護者（各家庭参加1名まで）、来賓2名、教職員、生徒会長に見送られ巣立っていきました。



### 離任者紹介

この度、8名の教職員が本校を離任することとなりました。新天地でのご活躍をお祈りいたします。

◆尾崎 慎一 教頭  
夕張高校へ

◆佐野 寿明 教諭  
数学科  
岩内高校へ

◆木谷 弥彦 教諭  
地歴公民科  
小樽潮陵高校へ

◆江良 明美 教諭  
英語科  
恵庭南高校へ

◆河渡 恵子 教諭  
数学科  
有朋（通遠隔配信センター）へ

◆藤田 理菜 教諭  
保健体育科  
標茶高校へ

◆盛 彩乃 事務主任  
札幌稲穂高等支援学校へ

◆吉田 颯希 事務職員  
北海道教育庁教職員局へ

令和2年度 部活動大会結果 12月～

スキー部(アルペン)

高等学校スキー選手権大会	GS 8位 原山 40位 宮崎 43位 松澤 SL 23位 原山 29位 宮崎 DNF 松澤
国体北海道予選	少年男子GS 43位 宮崎 46位 松澤 DNF 原山
北海道スキー選手権大会	GS 6位 原山 48位 宮崎 63位 松澤 スーパー大回転 11位 原山 84位 宮崎 88位 松澤
旭川スキー連盟杯	GS 9位 原山 48位 宮崎 63位 松澤
全国高等学校スキー大会	GS 39位 原山 SL 34位 原山 DNF 宮崎
北海道選手権SL	SL 87位 宮崎 DNF 原山 松澤
朝里川温泉SL競技会	SL 71位 宮崎 103位 松澤 DNF 原山
カムイスキーリンクス杯	スーパー大回転 6位 原山 88位 宮崎 90位 松澤

スキー部(ノルディック)

高等学校スキー選手権大会	男子10kmクラシカル 3位 古田 4位 三田 5位 久保 7位 伊藤 8位 高田 10位 細口 11位 工藤
	女子5kmクラシカル 1位 廣瀬 男子10kmフリー 1位 久保 3位 三田 4位 古田 7位 細口 8位 伊藤 9位 高田 11位 工藤
全日本スキー選手権大会	男子スプリント1.3kmフリー予選 79位 古田 89位 久保 111位 伊藤 114位 奥田 120位 三田
	女子スプリント1.3kmフリー予選 54位 廣瀬 男子マスタート10kmクラシカル 36位 三田 78位 久保 97位 古田 108位 高田 129位 伊藤
全国高等学校スキー大会	女子マスタート5kmクラシカル 53位 廣瀬 男子バシュートフリー10kmフリー 65位 三田 87位 古田 102位 高田 104位 久保 126位 伊藤
	女子バシュートフリー10kmフリー 59位 廣瀬
全国高等学校選抜スキー大会	男子10kmフリー 7位 三田 11位 古田 66位 久保 83位 細口
	女子5kmフリー 63位 廣瀬 男子10kmクラシカル 8位 久保 17位 古田 18位 三田 35位 伊藤
全国高等学校選抜スキー大会	女子5kmクラシカル 24位 廣瀬 男子10km×4リレー 5位 久保・三田・古田・高田
	男子1.2kmスプリント 11位 久保 37位 古田 59位 三田 93位 高田
ユース・ジュニア世界選手権大会	女子1.2kmスプリント 30位 廣瀬 男子15kmクラシカルマスタート 12位 三田 29位 古田 39位 久保
	女子10kmクラシカルマスタート 27位 廣瀬 男子10kmフリー 15位 三田 23位 古田 54位 久保 83位 高田 91位 細口 女子5kmフリー 69位 廣瀬
ユース・ジュニア世界選手権大会	バイアスロン競技 伊藤出場

男子テニス部

小樽室内ジュニアテニスシングルス大会	個人戦 黒田 千葉 2回戦敗退
小樽室内ジュニアテニスダブルス大会	個人戦 初戦敗退

女子テニス部

小樽室内ジュニアテニスシングルス大会	個人戦 2回戦敗退
--------------------	-----------

ソフトテニス部

小樽支部高校新人戦インドアソフトテニス大会	個人戦ダブルス 優勝 神・石見 準優勝 森・山本 第3位 土井・阿部
北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会	団体 2回戦 対別海3-0 勝利 3回戦 対札幌東0-2 敗退
北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会	個人戦ダブルス 神・石見出場 森・山本出場

男子バレーボール部

北海道高等学校バレーボール新人大会後志予選会	対岩内0-2 2位・
------------------------	------------

女子バレーボール部

北海道高等学校バレーボール新人大会後志予選会	対岩内2-0 優勝
北海道高等学校バレーボール新人大会	1回戦 対芦別2-0 勝利 2回戦 対札幌大谷0-2 敗退 全道ベスト16

バドミントン部

北海道高等学校新人大会兼全国高校選抜大会南北海道予選会	男子団体 2回戦 対札幌野修0-3 敗退 個人戦 男子シングルス 2回戦まで 男子ダブルス 2回戦まで
-----------------------------	---

男子バスケットボール部

バスケットボール新人大会	1回戦 対 小樽水産64-69 敗退
--------------	--------------------

卓球部

北海道高等学校選抜卓球大会	団体男子 対2-3 岩見沢農業 敗退 団体女子 対1-3 旭川東 敗退
---------------	--

剣道部

第40回北海道高等学校新人剣道大会	男子団体戦 対 札幌東0-5 敗退 対 釧路北陽0-3 敗退 対 音更0-4 敗退 男子個人戦 田嶋 初戦敗退
-------------------	--

少林寺拳法部

北海道高等学校少林寺拳法新人大会(動画審査)	女子自由組演武 有涼・佐々木 女子規定組演武 鎌崎・打田 女子自由単独演武 山本 女子規定単独演武 片平 女子団体演武 出場
------------------------	--

新聞局

倶高新聞卒業式号発行	
------------	--

家庭クラブ

保育園、琴和町内ひまわりの会へモザイクアート寄贈	
--------------------------	--

柔道 ※

高体連小樽支部秋季柔道新人戦兼全国高校柔道選手権北海道大会小樽支部予選会	男子60kg級 優勝 小林
全国高校柔道選手権北海道大会	男子60kg級 出場 小林

\*全道大会出場結果  
\*全国大会以上出場結果

※部活以外

事 務 局 計 局 長  
 大 川 井 美 和 子  
 児 玉 春 彦  
 佐 野 寿 明  
 渡 部 洋 也  
 尾 崎 慎 一  
 藤 原 祐 介  
 葛 地 眞 樹  
 馬 淵 洋 淳  
 田 嶋 英 志  
 辻 川 幸 恵  
 青 木 勤 一  
 西 川 直 樹  
 赤 木 洋 樹  
 福 岡 貴 弘  
 野 上 禎 樹  
 森 澤 禎 樹  
 小 澤 和 哉  
 山 田 和 哉  
 副 会 長  
 監 事  
 理 事  
 事 務 局 長  
 事 務 局 計 局 長

令和2年度 本部役員  
 編集後記  
 本PTAだより発行をも  
 って今年度の全業務が終了  
 いたしました。一年間ご協  
 力ありがとうございました。ま  
 した。次年度もPTA活動へ  
 のご理解、ご協力をお願い  
 いたします。